

ノルウェーフレンドシップヨットレース (NFYR) とは



Sweden, Bohemos, Germany and U.S. in close finish in fifth 5.5-Meter Race

eycが毎年春に主催する『ノルウェーフレンドシップヨットレース』は、2001年ノルウェー王国のハーラル5世国王陛下をはじめ駐日ノルウェー大使、大使館のみなさまの温かいご配慮から始まり、後援としてノルウェー大使館様、神奈川県様、藤沢市様、日本ノルウェー協会様、海上保安庁湘南海上保安署様、公益社団法人藤沢市観光協会様はじめご協賛各社様の御協力により毎年4月後半の2日観にわたって開催されている江の島沖の春の名物ヨットレースになります。

はじまりのきっかけは1964年10月12日～21日、第18回オリンピック東京大会ヨット競技が江の島ヨットハーバーで行われた際にさかのぼります。ヨット競技の5.5メートルクラスにノルウェー王国のハーラル皇太子殿下（当時27歳）が選手として出場され、その際、日本の皇太子殿下と妃殿下（現上皇陛下と上皇后陛下）がレースを観戦、応援され、若き皇太子同士としてご友情をはぐくまれたのです。



それから37年後の2001年春、ハーラル殿下はノルウェー王国の国王としてソニヤ王妃とご一緒に国賓として再来日なされ、3月28日には現上皇陛下と上皇后陛下のご案内で、思い出深い江の島ヨットハーバーをご訪問なされ、このご再訪を機に、一般社団法人江の島ヨットクラブの主催による日本・ノルウェー友好親善記念レース、「ノルウェーフレンドシップヨットレース」として2002年の春に第1回大会が開催されることになったのです。

大会には、子供たちのOPクラスから、ディンギークラス、大型クルーザーのクラスまで、総艇数100艇以上が参加し、ノルウェー大使館から授与されたバイキングトロフィーを競う大規模な両国の友好親善ヨットレースで、レース後には、ノルウェー大使ご臨席のもとノルウェー王国ゆかりの食材を活かした盛大な表彰式パーティが行われています。